

日本・ベトナム青少年友好の森

# TAYと手

(手)

「南遊の会」会誌第 1 号

こんにちは、みなさん！南遊の会です。おまたせしました、第 1 号目の「南遊の会」会誌その名も「TAYと手」です。(TAYとはベトナム語で「手」という意味です)「TAYと手」では南遊の会の活動状況、計画をお伝えしていきます。また、元気でベトナム大好きな会員を少しずつ紹介していこうと思っています。それから、もうすぐホームページ(<http://www.namdu.com>)ができるので、機会があればタイムリーな南遊会情報をGETして下さいね。では、今回のTAYと手では会長である石丸の挨拶、去年の活動について詳しくお伝えします。



皆様に、ご参加をお願いし始めて 5 ヶ月が過ぎました。すでに 100 名を越える方々のご賛同を戴きました。次々に広がる人と人との輪、和の大切さをかみしめながら進みたいと思います。

昨年試験植樹に参加した一人の日本人学生さんの声がどうしても忘れられません、「今日、植えた一本一本の苗がいとおしくてなりません、どうかベトナムの皆さん、今日、植えた木々を可愛がって、育て上げてください、私は必ず戻ってきます、今日植えた木々に会うために・・・」、ベトナムの学生が答えました「必ず育てあげます、きっとまた来てください」。

環境問題は一地域や一国家だけでは解決できません、異なった文化で育った人間同士の理解こそが解決の道を発見してくれることでしょう。

「カンザーマングローブ林保存 10 年計画」の全体構想は昨年 12 月、HCM 市人民委員会で承認されました、しかし「南遊の会」の参加については、3 月 11 日現在、承認されていません、もう少し時間が必要なようです。異国での活動には予想もできない障害が現れることもあります、皆さんと共に乗り越えて行きたいと存じます。



南遊の会 会長  
石丸 龍



## 1. ホーチミン市駐在(石丸 龍会長)活動の実施

- (1) ホーチミン市 農村・農業発展局及びカンザー県森林組合とマングローブ林保全調査をとおして交流のベースを構築。
- (2) 8月18日～25日 第1次スタディーツアーの実施  
日越学生(大学生)による合宿・協働作業にてマングローブの植樹を行う。
- (3) ホーチミン市よりマングローブ林保全事業を日越青少年の交流の場として「日越青少年友好の森」づくりの提案要請を受ける。
- (4) ホーチミン市の日本領事館へパイプ構築

## 2. 日本での活動

- (1) 市民団体「南遊の会」を、規約(定款)に基づく会員制度の擁立と会員構成員による会議体の設定
- (2) 日越青少年の交流促進活動として学校法人の提携校のアプローチ
- (3) 活動のより拡大を図るため、公的資金・民間財団への支援要請
- (4) 他の国際交流団体(YMCA・愛知県国際交流協会・名古屋国際センター・JICA)との交流

★ では、ここで去年の8月18日～25日の活動について詳しくお伝えします！昨年はまだ南遊の会そのものができたばかりで、全てが初めてに近いものでした。そのため、8日間はマングローブ植林だけでなく、まず様々な場所を訪れベトナムを知ることからスタート、そして勉強会や交流を通して人・生態系・自然環境を学び、それを体験することに重点を置きました。では、刺激が盛りだくさんのベトナム8日間をのぞいてみてください。出発！

### 第1日目 (ベトナム入り)



ホーチミン市内のブルージンジャーというレストランで夕食。きれいな女の子が演奏する伝統音楽とおいしいベトナム料理に感動♪



### 第2日目 (ベトナムを満喫)



ホーチミン市をシクロ(座席のついた人力三輪車)で観光。次々と行き交うバイクの波、道端に品物を並べ観光客を激しく呼び入れる声、市場に漂う独特な食品の匂い、お店に溢れんばかりの品物の数々ー日本と比べればもちろん貧しけれど、しっかりと地に足をつけた生活はエネルギッシュで元気そのもの。無駄の多い私達の生活を考えさせられました。



### 第3日目 (メコンクルーズ)



ほのかに潮の香りのする茶色くにごったメコン川をクルージング。寄り道した中州では今まで食べたことのない数々の果物に舌鼓。熱帯地域の風を浴びました。



### 第4日目 (いよいよカンザで植林)



フェリーでカンザという村に移動。マングローブと人間の関わり方を勉強したら、植林地へいざ出陣！この日、初めて出会ったホンバン大学の学生と変な英語ときこちない日本語を交わしながら様々な思いを込めて一人約100本を植林。今も無事に育ってるかなあ…。





## 第5日目 (小学校訪問)

元気いっぱいの子供達がいる小学校へ。教室にはホーおじさん(故ホーチミン大統領)の写真と教訓が掲げてありました。私達は、地元の子供達と混じてゲームをした後、なかなか入ることのできない人民委員会を訪ね、ベトナムの舞台裏を眺めてきました。



## 第6日目(森林組合の方々に挨拶)

ベトナム民族解放戦線の様子をリアルに再現した野外博物館で、ゲリラ戦争と呼ばれた戦いを自分達目で確かめてきました。一人一人が様々な思いをかみしめました。カンザを離れた後、森林組合の方々の前で活動内容とマングローブ林に対する熱い思いを伝えました。ベトナムでの最後の夜、とっても親しくなったホンバン大学の人達がパーティを開いてくれました。一生忘れられない夜となりました。



◎ベトナム・ホーチミン市カンザー県で、日本とベトナムの青少年を主体にマングローブ林保全をとおして 50ha/10年間の内3~5haの植樹「日越青少年友好の森」づくりへの具体的活動推進を図る。

### 1.事業推進の為の活動

- (1)現地駐在を通しマングローブ林保全の調査研究及びベトナム行政府とのマネージメントの推進。
- (2)公的資金(JICA等)、財団、企業からの助成・寄付を求める活動。
- (2)南遊の会の広報拡大活動と会員数の増員(100人→200人)を図る。
- (3)NPO法人化の推進。
- (4)他の国際交流団体との連携及び日越提携高校(姉妹校)の実現化推進

### 2.事業計画

#### (1) 森づくり体験学習(ワークキャンプ)の実施

- ・2002年夏休(2チーム)、2003年春休の2回(約1週間)
- ・高校生・大学生 10~15名募集します → 異文化を理解し、環境意識の高い青少年に育成

#### (2) 体験交流事業(スタディーツアー)の実施(約1週間)

- ・社会人、学生の混成 募集します

#### (3) 啓発支援事業

・団体、個人等にマングローブ林の保全についての理解・認識を広めると共に、環境問題に関心の高い大学高校などの団体に情報提供し支援する。

**XIN GIỚI THIỆU!** (ベトナム語で「紹介します」という意味です)

今回は昨年の活動に参加した会員3人を紹介します。

殺風景な空港を一步出ると、そこは人とバイクで織り成すすさまじい活気。早朝5時、公園も人でいっぱい。太極拳、ジョギング、バドミントン、テニスなどに興ずる老若男女。接した人たちの自身に満ち、生真面目でまた、したたかな態度、明るい表情。近い将来、「この国は発展する」と確証が得られた旅でした。



伊藤 剛史

地形・地質学を勉強している大学生です。昨年、たまたま教授からこの会の紹介を受け、ベトナムへ行くことになりました。マングローブについて現地の人たちの生の声を聞いたことが印象に残っています。また、空港で盗難にあったこともあって、とっても忘れられない旅になりました。今は、一緒に植林をしたホンバン大学の友達とEメールを楽しんでいます。



杉田 朝子

6回目のベトナム訪問であるが、一般的な交流から、的を絞ったものになっていった。特に教員として、子供達に話を伝えるのではなく、直接参加させたいと思うようになった。なぜマングローブなのか?なぜベトナムなのか?それには自分なりの思い込みがあるが、その答えは、体験の中から見つけだしてほしい。一人一人の生活の場を、視点を広げ、角度を変えてみるにより、考え直してほしい。そこは生きた教材だと思うから。それができるような時代になったと思う。



戸嶋 啓夫

## ANH CÓ THAM GIA KHÔNG? (ベトナム語で「参加しませんか?」という意味です)

このコーナーは、参加してほしいイベントをお知らせするものです。会員のみなさんに「南遊の会」の雰囲気を感じ取っていただき、もっと「南遊の会」を身近に感じてもらいたいのので、ぜひ参加してください。お待ちしております。

### 愛知県国際交流協会の「あいち国際プラザフェスティバル」

日時: 5月26日(日) 10:00~17:00

場所: 愛知県警南前「あいち国際プラザビル」

(名古屋市中区三の丸 2-6-1)

TEL 052-961-8744

<http://www.pref.aichi.jp/aia/>

交通: 地下鉄名城線「市役所」駅5番出口より徒歩5分

市バス「市役所」下車徒歩5分



\* 当日は **XIN GIÒI THÌOU!** で紹介した戸嶋啓夫さんが「南遊の会」についてスピーチします。こちらも覗いてみて下さいね。

場所: 同ビル2階 研修室2

時間: 15:30~16:00

### 第1回「南遊の会」総会

日時: 2002年5月26日 18:00~20:00

場所: AQA!

交通: 地下鉄桜通線、地下鉄名城線「久屋大通」駅

2A出口より徒歩5分

内容: 1. 2001年度活動実績及び会計報告

2. 2002年度の事業計画

3. その他、南遊の会の組織構成等

4. 講演



## お知らせ

### 会員人数について

なんと、南遊の会の会員数が100人近くになりました!! 会員の皆様、ありがとうございます。「南遊の会」は現在も会員を広く募集しています。今後も積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

### お願い

「南遊の会」運営費の一部として、書き損じハガキやあまった年賀状を集めています。(小さなお金ですが「塵も積もれば山となる」です。)是非、事務局まで送ってください。

### 最後に

第1回目「TAYと手」いかがでしたか? 「南遊の会」についてご理解頂けたでしょうか? 「南遊の会」はマングローブ植林の他に、植林を通じた日越の交流にも力を注いでいます。イベントで「南遊の会」の楽しさを味わっていただき、そして、具体的に活動してみたいという方は、今年の夏にベトナムで貴重な体験をしませんか? 会員の皆様のコメントやご意見は事務局までお願いします。では、イベント会場で皆様に会えることを楽しみにしています。

※PCアドレス登録された方へは、Eメールで「南遊の会」の週報南遊新聞など情報を随時ご提供しています。PCお持ちのPCアドレスを登録されていない方は、森田(moritats@k7.dion.ne.jp)までPCアドレスをご連絡下さい。

### 南遊の会 会員数

正会員	20名
賛助会員	23名
支持会員	32名
会友	23名
法人会員	0名
計	98名

(2002年3月現在)

### 2001年度 会計報告

2001年度 会計報告	
収入	支出
会費 500,000	現地活動費
寄付 4,000	158,000
	事務経費
	52,000
収入計 504,000	支出計 210,000
	残金 295,000

編集者 杉田朝子 協力 北森春香  
事務局

ホームページ: <http://www.namdu.com>

住所: 〒444-0878

愛知県岡崎市電美東 1-2-7

Tel: 0564-52-7174

Email: [k\\_hiromichi@h4.dion.ne.jp](mailto:k_hiromichi@h4.dion.ne.jp)